

京都府産業廃棄物減量・リサイクル推進ネットワーク協議会
(京都府産業廃棄物減量・リサイクル支援センター(仮称)設立準備会)

開 催 概 要

- 1 日 時 平成 23 年 4 月 26 日(火) 午前 10 時~11 時半
- 2 場 所 京都府庁 1 号館 文化環境部会議室
- 3 内 容

(1) センター組織体制・役員人事案、事業計画案について

- 京都府産業廃棄物減量・リサイクル支援センター(仮称)(以下「センター」という。)の設立総会の開催(H23.5.30 予定)に向けて、センターを構成する各団体が集まり、組織体制や役員人事案、事業計画案等について協議。
- 各案は概ね了承され、所用の修正等を行い、センター設立総会に提出することとなった。

(主な質疑)

Q: 幹事会の位置づけはどのようになるのか。

→ (事務局) 実務的協議を行う組織と考えている。規約案では、幹事会を置くことができることとしており、必要に応じて実務者レベルでの幹事会を随時開催していきたい。

Q: センターが開設してもゼロエミッションアドバイザー派遣事業、産廃減量・リサイクル情報等提供事業の事業主体は、それぞれ KES、産廃協会となるのか。

→ (事務局) その通り。センターから委託することとしており、事業がより適切円滑に実施できるように連携を強化していきたい。

(2) センター名称について

議論の結果、正式名称は原案の「京都府産業廃棄物減量・リサイクル支援センター」とし、愛称、ロゴ等の公募について検討することとなった。(設立総会は上記名称で開催。)

(主な意見)

- 「京都府産業廃棄物減量・リサイクル支援センター」が組織の性質・事業を最も適切に説明している。堅くても良い。
- 原案はセンターの目的を正確に表しており、正式名称とすることに賛成である。その代わり、呼びやすく、親しみを持ってもらえる愛称等を考えていけばよい。
- 「京都」ではなく「京都府」とした方が良い。様々な団体が名称に「京都」を冠しているが、「府」が入っている方が公共性をイメージしてもらいやすい。
- 低資源・低エネルギー社会を目指す上でも「ゼロエミッション」という用語として用いてはどうか。